

平成 23 年 3 月 11 日発生

東日本大震災（東北地方太平洋沖地震）

被災状況説明資料



写真左：震災前の航空写真（管内一部）
写真下：巨大津波により集落全体が壊滅的
被害を受ける



平成 23 年 6 月



みどり
水土里ネット

わたり

亘理土地改良区



宮城 震度7

M 8.8 大津波被害



地震により津波が発生、岩手県釜石で流される車など、11日午後3時20分ごろ(NHKニュースの映像から)

11日午後2時46分ごろ、東北地方を中心とする東日本の広い範囲で強い地震があり、宮城県で震度7を記録した。気象庁によると、震度7は宮城県北部、震源地は三陸沖で、震源の深さは約10キロ。地震の規模を示すマグニチュード(M)は8.8。

気象庁は岩手、宮城、福島を観測した。同市の港などの太平洋沿岸に大津波警報などで多数の車が海に流されるなど、北海道から伊豆諸島にかけて津波警報を出している。

東北電力などによると、宮城県の女川原発が自動停止した。

震度6強は、宮城県中部、福島県中部、福島県北部など。震度6弱は、岩手県沿岸南部、岩手県内陸北部、岩手県内陸南部、宮城県南部、福島県会津、栃木県北部、栃木県南部、千葉県西北部など。

気象庁によると、岩手県釜石市で最大4.2メートルの津越地震以来、7年ぶり。

国内で震度7を観測したのは2004年の新潟県中越地震以来、7年ぶり。

号外

平成23年(2011年)東北地方太平洋沖地震

○発生日時

平成23年3月11日(金)
午後2時46分ごろ

○震央地名

三陸沖(北緯38.0度, 東経142.9度,
牡鹿半島東南東約130km付近)

○震源の深さ

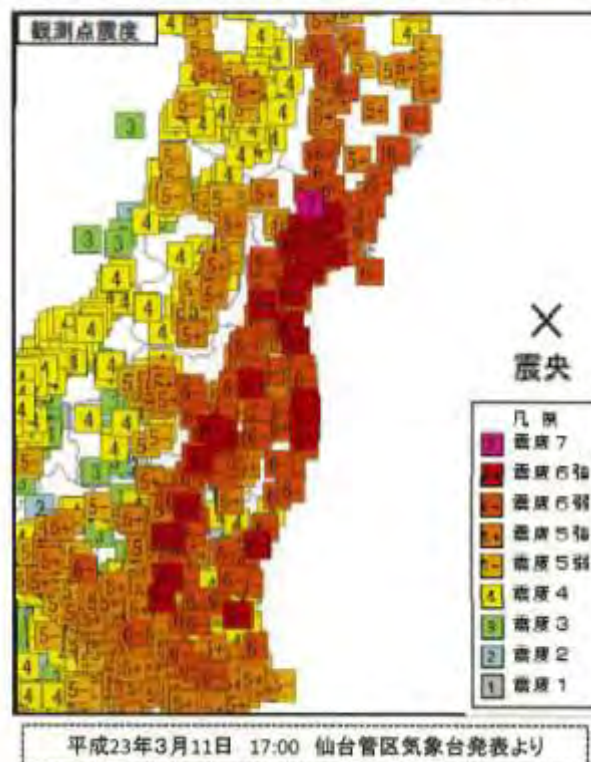
約24km

○規模

マグニチュード9.0

○最大震度

7(栗原市)



津波被害の状況

○津波の高さ

- ・石巻市鮎川 7.7m
- ・仙台港 7.2m

※痕跡等から推定した津波の高さ(平成23年4月5日仙台管区気象台発表)

※最大で内陸5kmまで津波が到達

※県土の4.5%に当たる327平方キロメートルが浸水

写真: 南三陸町HP, 県HPより



・管内被害状況

農地（亶理土地改良区管内 水稻作付対象）

町名	面積	塩害予想区域	水稻作付自粛区域	水稻作付可能区域
亶理町	2,495ha	1,693ha (67.9%)	256ha (10.3%)	546ha (21.8%)
山元町	1,038ha	838ha (80.7%)	4ha (0.4%)	196ha (18.9%)
計	3,533ha	2,531ha (71.6%)	260ha (7.4%)	742ha (21.0%)



津波により破壊された
JR 常磐線



土地改良区庁舎まで押し寄せる津波
(平成 23 年 3 月 11 日 17:18 撮影)

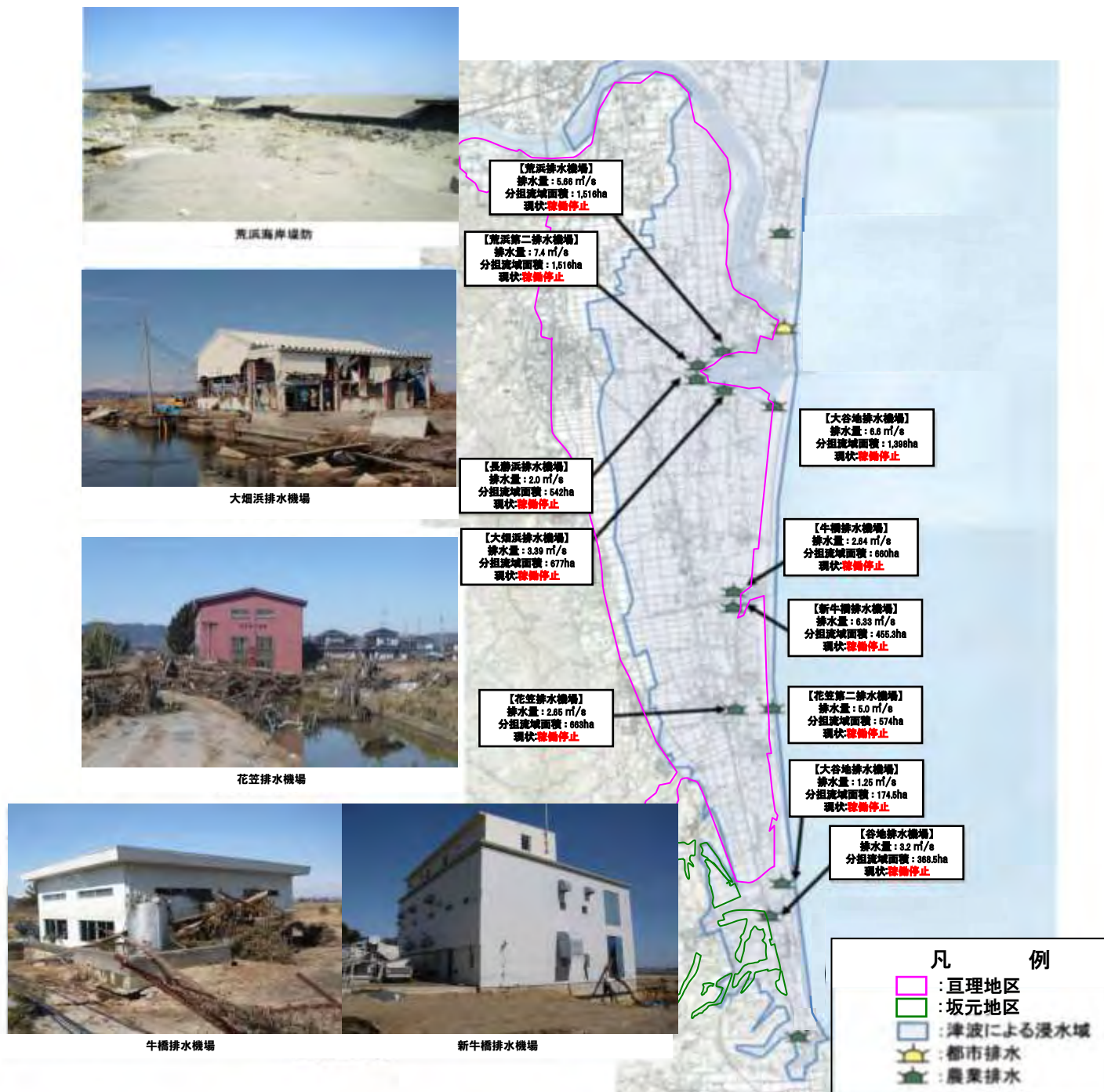


津波により収穫出来なくなったイチゴ

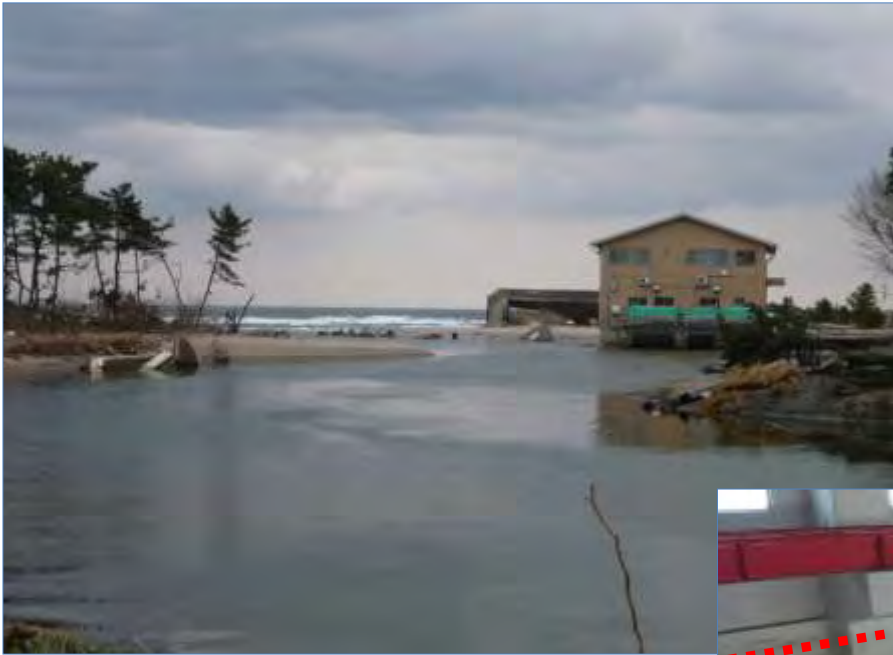
排水機場

今回の地震により、地盤沈下はおおむね 25 cm～50 cm となり海拔 0m を下回る地区が拡大し、排水機場の機能停止、海岸堤防の破堤により高潮、台風や前線による大雨の影響で浸水の恐れが増し、浸水による 2 次的被害の危険性が増している状況である。

亘理土地改良区管内排水機場等（平成 23 年 5 月現在）



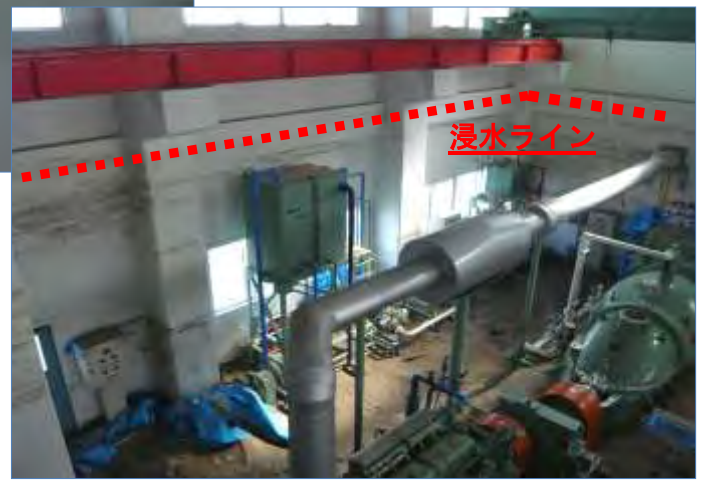
※ 平成 23 年 6 月時点において、一部仮復旧している排水機場があります。



導水路及び海岸堤防が破壊された吉田排水機場



震災前の吉田排水機場・・・①



浸水した吉田排水機場内部



津波により破壊された花笠第2排水機場



震災前の花笠第2排水機場・・・②



破壊された花笠第2排水機場



破壊された荒浜排水機場・・・③



被災した荒浜排水機場内部



津波による構内破損状況



震災前の荒浜第2排水機場・・・④



雑木や土砂、ゴミが流入した排水機場内部

海岸堤防



荒浜地区…⑤



吉田地区…⑥



牛橋防潮樋門より南方…⑦



花笠第2排水機場前…⑧

揚水機場



山下第8揚水機場…⑨



津波により全損した山下第8揚水機場

防潮樋門



破壊された鯉川防潮樋門・・・⑩



破壊された牛橋防潮樋門・・・⑪

排水路

津波により破壊された
九号排水路・・・⑫



被災した家屋が流れついた
舟入川排水路・・・⑬

地震及び津波により堤塘が破壊された
落し堀排水路・・・⑭

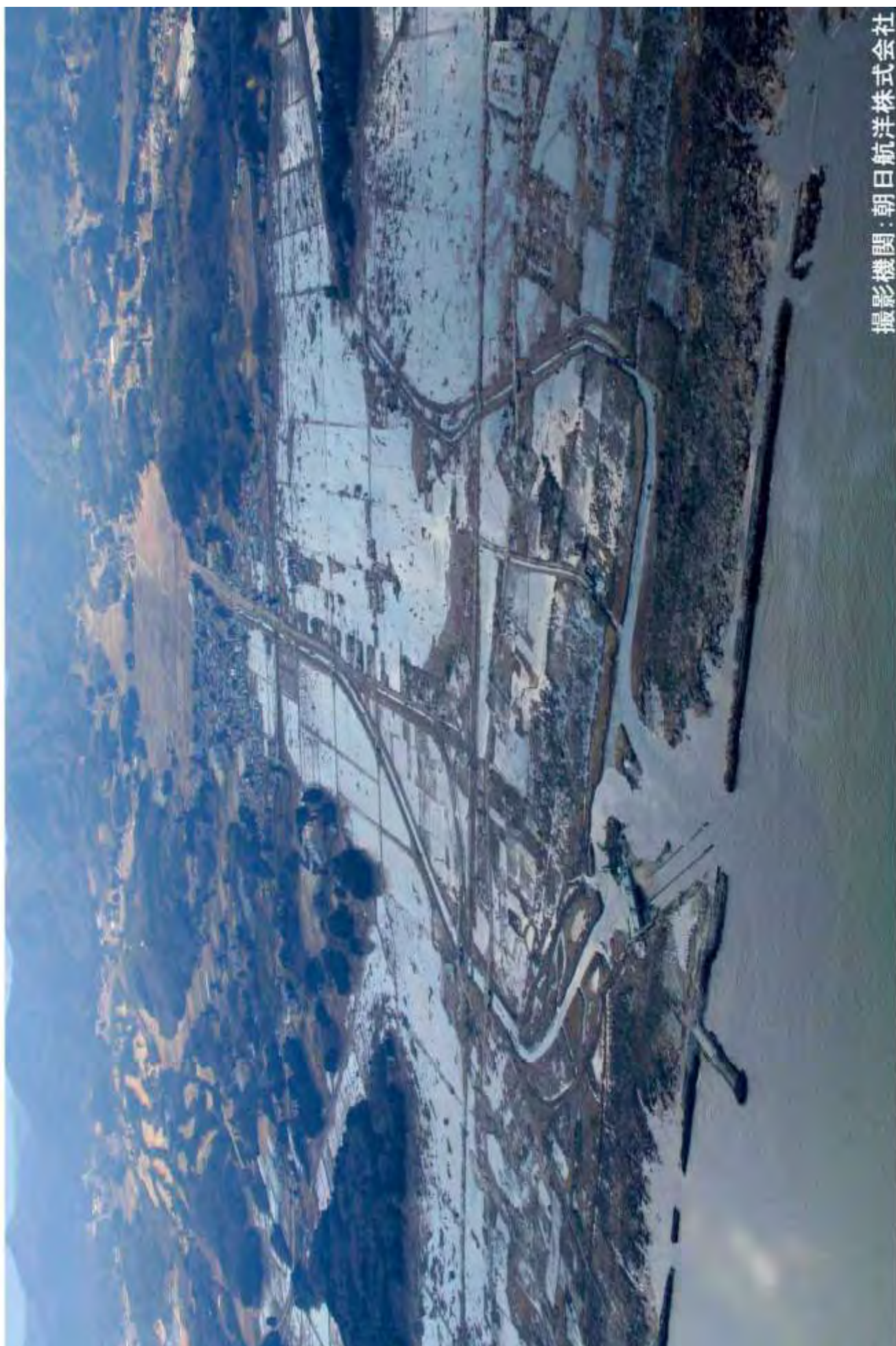


津波による浸水域（亶理町）



撮影機関：朝日航洋株式会社

津波による浸水域（山元町）



撮影機関：朝日航洋株式会社